



橋本美知子《室内》1979年

平成 29 年度呉市立美術館コレクション展Ⅱ

色彩を楽しむ

2017年 6.28 水 - 9.3 日

休館日：火曜日

開館時間：10時～17時（入館は16時30分まで）

入館料：一般 300（240）円 高校生 180（140）円 小中生 120（90）円

※（ ）内は20人以上の団体料金。呉市在住または通学の高校生以下、
呉市在住の70歳以上、はたちのパスポート・障害者手帳等をお持ちの方は無料
（要証明書）。家庭の日（毎月第3日曜日）は呉市内の中学生以下の方に同伴する
保護者の方も無料。

呉市立美術館

KURE MUNICIPAL MUSEUM OF ART

〒737-0028 呉市幸町入船山公園内
Tel (0823) 25-2007 Fax (0823) 24-9813
<http://www.kure-bi.jp/> kure-bi@beam.ocn.ne.jp

色彩を楽しむ

私たちの身の回りには、自然が生み出した無限の色彩や、人間がデザインやファッションとして創り出した色を含め、膨大な数の色が存在しています。色彩は明暗や強弱などの効果を与えるほか、立体感や温感、手触りなどの感覚をはじめ、時には私たちの喜怒哀楽の感情に働きかけるような精神的な力を持っています。美術の世界においても色彩はとても重要な要素です。芸術家たちは色のイメージや組み合わせを独自の視点で捉え、作品の中で多彩に表現しました。

今回の展覧会ではこうした色の特性に焦点を当て、呉市立美術館のコレクションの中から、主に「赤」「黄」「青」「緑」「白」「黒」の6色をキーワードに、それぞれの色調が印象的な作品を約30点ご紹介します。

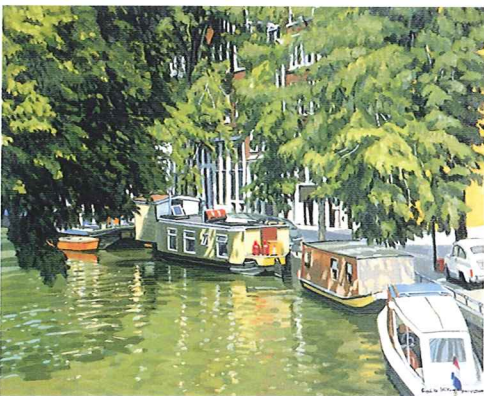
作品の形状や材質はさまざまですが、色を基準に構成された展示から美術と色彩の関係がより際立って感じられることでしょう。ぜひ自由な気持ちで「色」そのものを味わいながら、そこから広がるイメージの世界をお楽しみください。



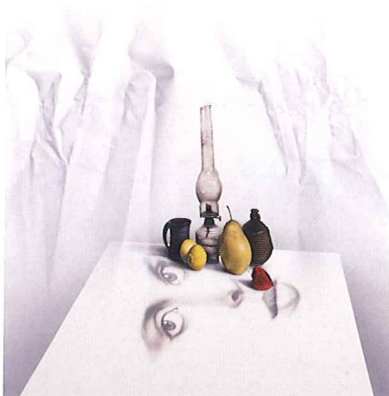
奥田元宋《霧雨》1982年



神戸文子《エーゲ海と女達》1982年



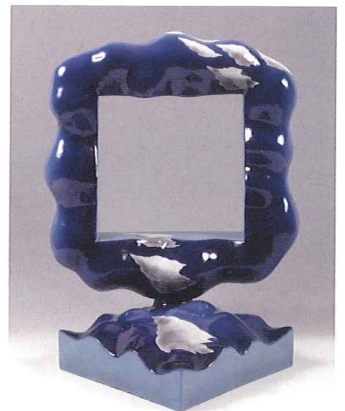
石川滋彦
《初夏のアムステルダム、運河とハウスボート》1984年



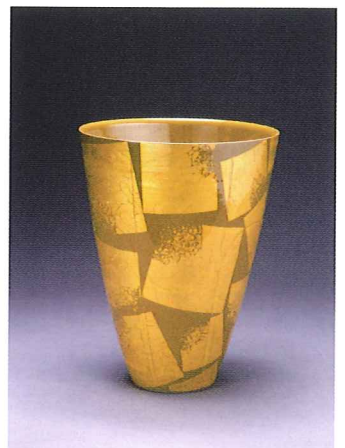
三尾公三《白い部屋の静物》1981年



中村琢二《緑衣》1982年



柳原睦夫《空の記憶》1977年



小野珀子
《釉裏金彩黄釉花入》1984年

関連イベント ※申込不要・参加費無料（ただし展覧会の入館料が必要です。） 会場：1F 展示室

■ギャラリートーク

展示の見どころを学芸員が解説します。（約30分）

日時：6月28日（水）、7月22日（土）、29日（土）、8月11日（金・祝）14:00～

■子ども鑑賞ツアー

小学生と保護者を対象にしたギャラリートークです。ぜひご家族でご参加ください。

日時：8月5日（土）14:00～（約30分）

●家庭の日（第3日曜日）

呉市内の中学生以下のお子さんに同伴する保護者の入館料が無料になります。この機会にご家族でお出かけください。対象日：7月16日（日）、8月20日（日）

呉市立美術館

KURE MUNICIPAL MUSEUM OF ART
〒737-0028 呉市幸町入船山公園内
TEL (0823) 25-2007 Fax (0823) 24-9813
http://www.kure-bi.jp/ kure-bi@abean.ocn.ne.jp